

優秀賞

家族が詐欺にあった日

志村 采音（大学3年生：埼玉県）

詐欺被害者の家族として詐欺を体験するシミュレーションゲーム「家族が詐欺にあった日」

詐欺被害を防ぐ方法についてはよく知られていますが、実際に被害に遭った後の具体的な対応について詳しく学ぶ機会は少ないと感じています。私の身近なところでも詐欺被害が発生し、これ以上被害者を増やさないために、また自戒の念も込めてこのゲームを考えました。

[ゲーム内容]

プレイヤーは自身の年齢・職業・家族構成を設定し、家族の情報も同様に入力。その後、一週間の日常を過ごします。誰が、どのタイミングで詐欺に遭うかはランダムで決まり、被害者の年齢や職業に応じた詐欺手口が発生します。

プレイヤーの注意力や選択によっては、詐欺の兆候に気づき、被害を未然に防ぐことも可能です。その場合、詐欺の手口や防ぎ方についての解説が入り、ゲームクリアとなります。一方、防げなかった場合は、詐欺の手口について家族から説明を受けた後、関係機関（警察、弁護士、消費者センターなど）に相談し、事件の解決を目指します。また、被害者の心のケアも並行して行います。

プレイヤーは証拠収集、関係者への聞き込み、情報分析などの調査活動を行い、犯人を特定し返金交渉を進めます。しかし成功率は低く、プレイヤーの選択や行動によって結果が変化するマルチエンディング方式となります。

[エンディング例]

- ・犯人グループを警察が特定し、被害総額の10%(100万円)の返金に成功。その後、6年で返済を完了した。(主人公32歳、被害者60歳)
- ・資金が海外口座に流れていたため返金されず、7年たった今でも返済が続いている。(主人公30歳、被害者38歳)

このゲームを通じて、詐欺のリアルな実態と、被害後の対応の難しさを客観的に学ぶことができます。現実を直視し、より多くの人々が詐欺に対する意識を高められるよう願ってやみません。